

井カジュアル減災

生活協同組合コープこうべ
第7地区本部 地域コーディネーター

小西 玲奈さん

防災士として、130回以上の講演やワークショップの開催実績を持つほか、防災コラムの執筆もしている。



今月のテーマ アルミホイル

くっつかないホイル
じゃなくてもOK!



普段の暮らしでも活用シーンの多いアルミホイル。実は災害時にも大活躍します！ どのようにして活用するのかをご紹介します。



ぼうお 防汚

断水時に皿や鍋、フライパンにアルミホイルを敷いて、汚れるのを防ぎます。



防寒

お腹や足首の周りに肌着や靴下の下から二重にしたアルミホイルを巻いて、さらに衣類を重ねると身体から出た熱を閉じ込め、体温の低下を抑えてくれます。



防臭

アルミホイルは、金属イオンがニオイの原因となる雑菌の繁殖を抑える効果と、高い密閉性があります。使用済みのオムツや非常用トイレなどを包み、ニオイを軽減します。



断熱

高い熱反射率を持つアルミホイルを敷布団の下に敷いて、床からの冷気を遮断します。さらに体から出る熱は閉じ込めます。



遮光

アルミホイルは優れた遮光性があります。西日や直射日光を防ぐ必要がある時には光沢面を外側に向けて窓に貼り、室内の温度上昇を抑え、熱中症を防ぎます。



目印

救助要請が必要なときに、大きく広げたアルミホイルで太陽光を反射させて、生存と居場所を知らせます。

#カジュアルポイント

+1本は
備蓄しよう!



私は普段、25cm幅と30cm幅の長巻きタイプのアルミホイルを使い分けていて、それぞれ新品を1本ずつストックしています。アルミホイルに限らず、日用消耗品は、今使用している物+1セットは常に確保するようにしましょう！

コープいしかわ再発見!

そんな
ことまで?

vol.02 地域協議会



私たち組合員が
運営しています



能登地域協議会
会長 坂本さん

コープいしかわの事業や活動には思わず「そんなことまで?」となる驚きや発見がいっぱい。機関紙企画検討委員会セレクトの「そんなことまで?」を紹介します。

組合員の暮らしに役立つ学習会、コープ商品の学習会などの企画・事前準備から当日の運営までをメンバーが協力して自主的に行っています。またコープいしかわの取り組みや経営数値の報告を聞き、意見を出す会議にも参加しています。生協ならではの組合員活動を、生活者としての視点で企画運営しているのが地域協議会です。

県内を4つのエリアに
分けています



石川東地域協議会
会長 池端さん

南加賀地域協議会



能登地域協議会

石川東地域協議会

石川西地域協議会

いろんな企画をしています

地域協議会の開催行事はコープおすすめ情報便で案内しています



能登地域協議会
「ケチャップ作りに
チャレンジ!」



石川東地域協議会
「掘って!食べて!
五郎島金時!」



石川西地域協議会
「夏休み親子企画
実験教室 実はす
こいぞ!微生物」



南加賀地域協議会
「能美市防災セン
ター体験!」

みんなが楽しめる企画を

まずは自分たちの興味があるテーマをベースに、参加者がためになったと喜んでくれる企画をみんなで検討。自分たちも、参加した組合員も楽しめる企画を目指しています。



石川西地域協議会
会長 山田さん

参加してくれた組合員の
ありがとうの声やりが
いつながっています

組合員の声

今回初めて参加し初めて会った方々なのに、とても和気あいあいとした楽しい企画でした。今日学んだことをお友だちにも伝えようと思いました。



南加賀地域協議会
会長 加藤さん

組合員の声 Q&A

そんな
ことまで?

Q 献立を考えて注文しているため農産品の欠品は非常に困ります。欠品しそうな商品はカタログに掲載しないほしいし、欠品しないよう生産者への対応を強化してほしい。

A カタログはお届けの1カ月前に確定します。その後に発生した生育トラブルは、どうしても欠品として対応せざるを得ないのが現状です。

農産バイヤーは、カタログ確定後にトラブルが発生した場合でも、お届けの直前まで生産者と協議し、産地の代替を模索するなど欠品回避に奔走しております。しかし、著しい品質不良が懸念される場合や全国的な原料不足に陥った場合は、苦渋の決断として欠品と判断せざるを得ません。また宅配事業では北陸3県18万世帯の需要を補う代替品の確保も非常に困難です。バイヤーと生産者が直前まで最大限の努力を続けておりますが、自然を相手にする農産物の性質上、完全に欠品を回避することは難しいため、何卒ご理解を賜りますようお願いいたします。